

平成 26 年 度

事 業 報 告 書

自：平成 26 年 4 月 1 日

至：平成 26 年 8 月 31 日

社団法人 日本クレー射撃協会

平成26年度事業報告書

自：平成26年4月1日

至：平成26年8月31日

[総 評]

平成26年度(2014年度)は、当協会が協会運営の正常化に向けて前進していることが高く評価され、(公財)日本オリンピック委員会や(独)日本スポーツ振興センターからの補助金事業が従来通り実施できることとなり、来る9月開催予定の世界射撃選手権大会(スペイン)、アジア競技大会(韓国)に向けた選手強化事業を展開することとなり、ナショナルチームやジュニアチームの編成に向け、国内強化合宿事業を重点的に実施した。

併せて、文部科学省が推進する競技別強化拠点に指定・公募に向けた打合せを文部科学省や(公財)日本オリンピック委員会と複数回行い、来る2016年リオ五輪、2020年東京五輪に向け、本格的な強化事業が行える体制を整えることができた。

また、平成25年11月26日に内閣府へ申請した一般社団法人への移行申請は、内閣府公益認定等委員会の全ての審査を経て、8月18日付で内閣府より移行認可を得ることができた。

一方で、当協会の正味財産が昨年度より約620万円増額の約1億2,400万円となり、正味財産約8,500万円であった平成23年度から2年半で、3,900万円回復することができた。

当協会は、平成21~23年度の混乱により上部団体である(公財)日本体育協会の勧告処分が解けておらず、第71~74回国体においては隔年開催となっていることから、先の一般社団法人移行後、協会運営の正常化を更に推し進め、勧告処分の解除と第75回国体以降の毎年開催復帰に向けて善処したい。

事業の状況詳細については次の通りである。

I. 事業の状況

本会定款第5条に基づき、以下の通り諸事業を実施した。

(1) クレー射撃の普及、及び指導

1. 広報事業（機関誌「ザ・シューターズ」による安全や人権意識の啓蒙、インターネットHPによる情報提供、その他各種取材への対応

機関誌「ザ・シューターズ」は第273号を発行し、国内・国際大会における主要競技会の模様や成績報告、理事会・総会決定事項・連絡事項等を掲載し、会員への情報提供に努めた。

また、協会ホームページを利用し、会員のみならず業界関係者他一般へ向けた情報提供に傾注した。

2. 各種推薦業務の実施、射手手帳の配布

本年度はライフル銃所持推薦3件、散弾銃未成年所持推薦8件、技能講習免除推薦71件をそれぞれ手続きした。

第1回推薦委員会 平成26年6月25日 岸体育館

第2回推薦委員会 平成26年8月20日 岸体育館

3. 国民体育大会

本年開催予定の長崎国体他、後催国体に関する打合せ協議をそれぞれ行った。

<第69回長崎国体>

長崎国体リハ大会視察 平成26年6月13～15日 熊本県立総合射撃場

長崎国体打合せ 平成26年7月 3日 岸体育館

<第70回和歌山国体>

和歌山国体打合せ 平成26年4月14日 本部事務局

和歌山国体打合せ 平成26年6月16日 本部事務局

第1回実行委員会 平成26年7月16日 伊勢原市商工会議所

<第71回岩手国体>

岩手国体打合せ（花巻市） 平成26年6月27日 本部事務局

<第73回茨城国体>

茨城国体正規視察

平成26年8月4～5日

茨城県狩猟者研修センター

<第75回三重国体>

三重国体会場視察

平成26年8月20～21日

三重県上野射撃場

4. 銃刀法改正

銃刀法改正について、次の通り諸会議・打合せを行った。

銃砲競技団体打合せ	平成26年4月24日	岸体育館
銃砲競技団体打合せ	平成26年5月1日	岸体育館
警察庁面談打合せ	平成26年5月7日	警察庁
警察庁面談打合せ	平成26年6月2日	警察庁
銃砲競技団体打合せ	平成26年6月3日	岸体育館
銃砲競技団体打合せ	平成26年6月17日	岸体育館
銃刀法緩和要望報告	平成26年6月24日	岸体育館
警察庁ヒアリング	平成26年7月22日	警察庁
銃砲競技団体打合せ	平成26年8月8日	岸体育館

(2) クレー射撃の全日本選手権大会、及びその他の競技会の開催

1. 公式大会開催事業（春夏秋冬本部公式大会、全日本選手権大会、地方公式大会、ランニング・ターゲット公式大会の開催等）

- 春季本部公式大会（平成26年4月19日～20日／岡山県クレー射撃場）

参加選手82名（トラップ52名、スキート30名）

- 夏季本部公式大会（平成26年7月12日～13日／宮城県クレー射撃場）

参加選手96名（トラップ64名、スキート32名）

- その他 地方公式大会：208大会開催、ランニング・ターゲット大会：2大会開催

(3) クレー射撃の国際競技会等への代表参加者の選定及び派遣

（公財）日本オリンピック委員会の選手強化NF事業として、次の事業を実施した。

- ドイツワールドカップ大会への選手団派遣（自費派遣）

派遣先 ドイツ・ミュンヘン市

派遣期間 平成26年6月3～14日
派遣人員 役職員2名、選手5名 計7名

* アメリカワールドカップ大会（自費派遣）

派遣先 アメリカ・ツーソン市
派遣期間 平成26年4月7～13日
派遣人数 職員1名、選手1名 計2名

* 中国ワールドカップ大会（自費派遣）

派遣先 中国・北京市
派遣期間 平成26年6月29日～7月7日
派遣人数 職員1名、選手1名 計2名

●世界選手権大会・アジア大会 結団式

平成26年8月 5日 議員会館・南国酒家

(4) クレー射撃に関する指導者及び審判員養成並びにその資格の認定

1. ブロック講習会開催による審判員の養成等

各ブロックにおける審判員講習会を延べ4回開催し、1級昇格44名、2級トラップ・スキート・複合・公認射撃場指導員105名 計149名の審判員や公認指導員を新たに登録。また、審判員1級、2級トラップ・スキート、公認指導員 計124名の更新登録を行った。

●ブロック講習会

北海道	平成26年 6月14日	帯広国際クレー射撃場
東北	平成26年 8月23日	二本松市総合射撃場
関東	平成26年 8月30日	ニッコー栃木総合射撃場
東海	平成26年 7月 5日	愛知県総合射撃場

(5) クレー射撃に関する施設、用具等の検定及び認定

1. 装弾、クレー標的、射撃場、放出機、スコアボードの検定・公認

国産・輸入クレー検定会、公認射撃場検定の実施

本年度は20件の射撃場の公認更新手続きを行った他、射撃場検定2件を行った。

射撃場検定	平成26年7月10日	二本松市総合射撃場
射撃場検定	平成26年8月7～8日	佐久平国際射撃場

2. 関連団体への指導育成、情報交換

業界関係団体との各種懇親会等を利用して懇談を持ち、それぞれ成果を上げた。

(一社) 全日本指定射撃場協会懇親会	平成26年5月20日	アルカディア市ヶ谷
(一社) 日本猟用資材工業会懇親会	平成26年5月26日	グランドヒル市ヶ谷
(一社) 大日本猟友会懇親会	平成26年5月28日	アルカディア市ヶ谷
(一社) 日本猟用資材工業会と面談	平成26年7月9日	工業会事務局
クレー標的取扱い業者と面談	平成26年7月18日	岸体育館
(一社) 大日本猟友会と面談	平成26年8月25日	岸体育館

(6) クレー射撃の競技力向上に関する事業

1. 競技力向上事業（ナショナルチーム強化事業等）

日本選手の育成・強化のため、国内合宿を次の通り実施した他、強化指定選手の個人合宿を実施した。

【強化合宿】

第1回強化合宿	平成26年4月21～24日	伊勢原射撃場（役員2名、選手5名）
第2回強化合宿	平成26年5月12～15日	伊勢原射撃場（役員11名、選手19名）
第3回強化合宿	平成26年6月17～20日	伊勢原射撃場（役員9名、選手10名）
第4回強化合宿	平成26年6月25～28日	伊勢原射撃場（役員8名、選手9名）
第5回強化合宿	平成26年7月14～17日	伊勢原射撃場（役員8名、選手7名）
第6回強化合宿	平成26年7月28～31日	伊勢原射撃場（役員8名、選手7名）
第7回強化合宿	平成26年8月4～9日	伊勢原射撃場（役員7名、選手7名）
第8回強化合宿	平成26年8月18～21日	伊勢原射撃場（役員9名、選手7名）

* 伊勢原射撃場：神奈川県立伊勢原射撃場

2. 本会加盟部会への強化事業（学連・RT部会への強化交付金配布）

日本学生クレー射撃連盟主管によるジュニア競技会を、次の通り実施した。

JOCジュニアオリンピックカップ全日本学生選手権大会

平成26年8月23日 ぐんまジャイアント総合射撃場

3. ISSF公認 指導者養成事業

ISSFより講師を招聘し、各都道府県協会より24名の参加を得て指導者養成講習を実施した。

ISSF Dコース：平成26年7月22～25日 神奈川県立伊勢原射撃場

4. 文科省指定 競技別強化拠点

文科省、JOC関係者とクレ射撃競技の競技別強化拠点設置について折衝・打合せを行った。

文科省担当者と打合せ協議	平成26年4月18日	文科省
JOC担当者と打合せ協議	平成26年5月1日	NTC
文科省担当者と打合せ協議	平成26年5月13日	文科省

(7) 段級位の審査及び称号の授与

1. 段級位審査事業（段級位審査会の実施、名誉段位の認定等）

各本部公式大会及びA級地方公式大会における段級位審査会を実施。

今年度は1級2名（ランニング・ターゲット）、初段14名、2段3名、3段8名を新たに登録、該当会員へ認定証及びバッジの交付を行った。

(8) クレー射撃に関する記録の公認

1. 公式大会開催事業（年間ランキング表、地方公式大会日程表の作成等）

各本部公式大会や地方公式大会における記録の公認を行った。

(9) クレー射撃に関する諸規則の制定

次の規程等を制定又は決定した。

◆入会・退会規定設置

第1回理事会（平成26年6月12日）承認

第1回通常総会（平成26年6月12日）承認

◆2016年リオ五輪に関するQPの取扱いについて

第2回理事会（平成26年8月29日）承認

◆特別強化指定選手選考基準

第2回理事会（平成26年8月29日）承認

(10) 機関誌その他の刊行物の発行及び資料の保管

1. 広報事業（機関誌「ザ・シューターズ」の編集・発行等）

事業計画に基づく機関誌「ザ・シューターズ」第272号を発行した。

2. 協会ホーム・ページの展開及び充実

協会ホームページにて、本部公式大会や地方公式大会の成績掲載、理事会・総会や各委員会における決定事項を掲示し、当協会関係者への情報提供に努めた。

(11) 日本クレール射撃界を代表して、財団法人日本体育協会、財団法人日本オリンピック委員会及びクレール射撃競技に関する国際競技団体への加盟

1. 公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会への加盟

- （公財）日本体育協会（日体協）主催の諸会議等へ次の通り出席。

【スポーツ指導者関係】

公認スポーツ指導者事務担当者会議 平成26年5月28日 渋谷シダックスホール

【国体関係】

日体協国体競技運営専門部会 平成26年6月11日 岸体育館

【その他】

事務局長会議	平成26年4月23日	渋谷シダックスホール
改善計画書進捗報告	平成26年4月28日	日体協役員室
定時評議員会	平成26年6月25日	品川プリンスホテル
改善計画書進捗報告	平成26年8月12日	日体協役員室

- （公財）日本オリンピック委員会（JOC）主催の諸会議等へ次の通り出席。

専務理事と面談	平成26年4月4日	岸体育館
アジア大会個別折衝	平成26年5月21日	岸体育館
総務委員会	平成26年6月5日	岸体育館
アジア大会選手団派遣手続き	平成26年6月11日	JISS
定時評議員会	平成26年6月30日	NTC
トップアスリートサポート賞表彰式	平成26年6月30日	NTC

専務理事と面談	平成26年7月 8日	岸体育館
ISSFアカデミー委員長 表敬訪問	平成26年7月21日	岸体育館
25周年感謝の集い	平成26年8月 7日	岸体育館

●文部科学省主催の諸会議等へ次の通り出席。

文部科学大臣 顕彰・表彰式 平成26年7月16日 ホテルニューオータニ

●その他

(独)日本スポーツ振興センター(JSC)

国立競技場ファイナルセレモニー	平成26年5月30日	国立競技場
助成事業研修会	平成26年6月25日	JSC会議室

2. 国際スポーツ射撃連盟(ISSF)、アジア射撃連合(ASC)、アジアクレイ射撃連盟(ACSF)への加盟

ISSF Dコース 平成26年7月22～25日 神奈川県立伊勢原射撃場

(12) その他、目的を達成するために必要な事業

1. 資格審査事業(会員資格の審査等)

今年度は、新入会員189名を新たに審査しこれを登録した。

2. 総務事業(各委員会の統括、理事会、総会、加盟地方協会へ連絡業務、会計・事務局の管理等)

各委員会の統括、加盟地方協会への連絡業務、会計、事務局の管理等については例年通り実施した他、法人移行申請については、内閣府公益認定等委員会の審査が全て終了し、平成26年8月18日付けで内閣府より一般社団法人の移行認可を受けた。
移行認可後、当協会は平成26年9月1日付で、一般社団法人へ移行することとなった。

3. 奨励金事業(優秀選手への奨励)

●個人奨励金

1. 本部公式大会

*なし

2. 地方公式大会

50ストレート 6名

4. 倫理委員会事業（倫理講習会開催、主要大会への委員派遣等）

国民体育大会会場へ倫理委員を派遣し、競技会場内における巡回指導を行った他、倫理規定違反の恐れのある関係者への聴聞会を開き、其々の詳細につき事情を聴取した。

倫理委員会打合せ	平成26年4月 8日	岸体育館
第1回倫理聴聞会	平成26年4月15～16日	岸体育館
第2回倫理聴聞会	平成26年4月21日	岸体育館

5. 議事録作成や理事登記等諸手続きの補完

四国ブロック選出理事谷巖氏（高知）が辞任し、後任理事として細川準次（香川）が平成26年6月12日開催の平成26年度第1回通常総会において承認され、理事変更の登記手続きを行った。

6. 訴訟等の司法対応

<地位確認請求訴訟／平成24年（ワ）第25767号>

原告：伊東総一郎外18名

被告：当協会

第11回弁論	平成26年4月25日	東京地方裁判所
第12回弁論	平成26年6月13日	東京地方裁判所
第13回弁論	平成26年7月29日	東京地方裁判所

<損害賠償請求訴訟／平成24年（ワ）第36234号>

原告：当協会

被告：平井一三外19名

第9回弁論	平成26年4月22日	東京地方裁判所
第10回弁論	平成26年6月20日	東京地方裁判所
第11回弁論	平成26年8月 5日	東京地方裁判所

<不当利益返還請求訴訟／平成25年(ワ)第23105号>

原告：当協会

被告：西岡芳樹（弁護士）

第6回弁論 平成26年5月19日 東京地方裁判所

第7回弁論 平成26年7月3日 東京地方裁判所

第8回弁論 平成26年8月6日 東京地方裁判所

8. 理事会・総会、各種委員会、その他の会合開催

理事会、総会等の開催の詳細については次の通り。

【理事会】

第1回理事会 平成26年6月12日 岸体育館

第2回理事会 平成26年8月29日 岸体育館

【総会】

第1回通常総会 平成26年6月12日 岸体育館

【会計監査】

次の通り、公認会計士や監事の監査会を行った他、月1回税理士の監査を受けた。

公認会計士監査 平成26年4月1日 本部事務局

公認会計士監査 平成26年4月30日 本部事務局

公認会計士監査 平成26年5月2日 本部事務局

公認会計士監査 平成26年5月22日 本部事務局

公認会計士監査 平成26年5月28日 本部事務局

監事監査会及び監査概要報告会

平成26年5月30日 岸体育館

(13) 会員の増減

平成26年度の会員数については2,290名（うち新入会員189名）の登録となり、昨年度の会員数2,382名と比較して92名の減少となった。

Ⅱ. 処務の概要

(1) 役員名簿 別 紙

(2) 職員名簿 別 紙

団体名 社団法人 日本クレイ射撃協会

電話番号 03-3481-2408

所在地 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館 FAX番号 03-3481-2452

役員名簿 (平成26年8月31日現在)

No.	役 職 名		氏 名	所 属	勤 務 先
1	会 長	* 休職中	麻生 太郎	福 岡	国会議員
2	会長代行	渉外・強化委員長	高橋 義博	神奈川	(株)サンマリノインターナショナル
3	副会長		渡辺 幹也	静 岡	(医)渡辺歯科医院
4	副会長	競技委員長	笹田 矩史	本 部	(株)三光自動車硝子
5	常務理事	総務・広報委員長	及川 悦郎	本 部	一本木企画(株)
6	常務理事	審査委員長	千葉 守男	福 島	(有)千葉石材店
7	常務理事	検定・段級位審査委員長	山下 久雄	茨 城	(株)山商
8	常務理事	資格審査・倫理委員長	本戸 歳知	埼 玉	(医)明櫻会さくら歯科クリニック
9	常務理事	国体委員長	井出 益弘	和歌山	和歌山県議会議員
10	理 事		片岡 清司	北海道	(医)歯峰会中原津歯科診療所
11	理 事		三浦 正義	秋 田	(株)秋田中央機工
12	理 事		小平 光優	栃 木	(株)ファーレン栃木
13	理 事		太田 好道	静 岡	(株)浜久自動車
14	理 事		中根 逸朗	愛 知	(医)真成会碧歯科医院
15	理 事		中本 勝好	福 井	(株)立力
16	理 事		細川 準次	香 川	* 自営業(不動産)
21	監 事		中田 忠	兵 庫	(株)中田建築事務所
22	監 事		不老 安正	福 岡	(株)かさの家

職員名簿

団体名 社団法人 日本クレー射撃協会

(平成26年8月31日現在)

区 分	(ふりがな) 氏 名	主 な 担 当
正職員	<small>おおえ なおゆき</small> 大江 直之	総務 ・ 国体 ・ 国内渉外 ・ 倫理
正職員	<small>ながしま ひろやす</small> 永島 宏泰	競技 ・ 強化
嘱託職員	<small>てるい もとい</small> 照井 基	段級位 ・ 検定 ・ 庶務受付
嘱託職員	<small>からさわ りさ</small> 唐澤 里沙	国際渉外 ・ 推薦
嘱託職員	<small>すぎの しょういち</small> 杉野 彰一	経理事務
アルバイト職員	<small>やまだ はるみ</small> 山田 春美	資格審査 ・ 審査 ・ 広報 ・ 稟議